

噴火湾環境情報 NO.2

2020/2/27

沿岸親潮の湾内流入始まる

道総研函館水産試験場
調査研究部
担当:西田、渡野邊

2020年2月15日から19日にかけて、釧路水試北辰丸を用いて噴火湾及びその周辺海域の環境調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。図1に示す10m深水温の水平分布から、沿岸親潮（指標：水温3℃以下）は湾内では湾口部、胆振側を中心に分布しており、その先端は長万部沖にあります。また、湾内における沿岸親潮水の湾内占有率は約19%であり、ほぼ平年並みです（図2）。

太平洋沿岸域における定期観測の結果から（図3）、日高沖には水温0℃台の沿岸親潮が分布しており、今後、この水塊が噴火湾に流入することにより湾内の水温はさらに低下することが予想されます。しかし、津軽暖流（指標：水温6℃以上）が日高沿岸まで張り出しており、沿岸親潮の湾内流入は一時中断される見込みです。

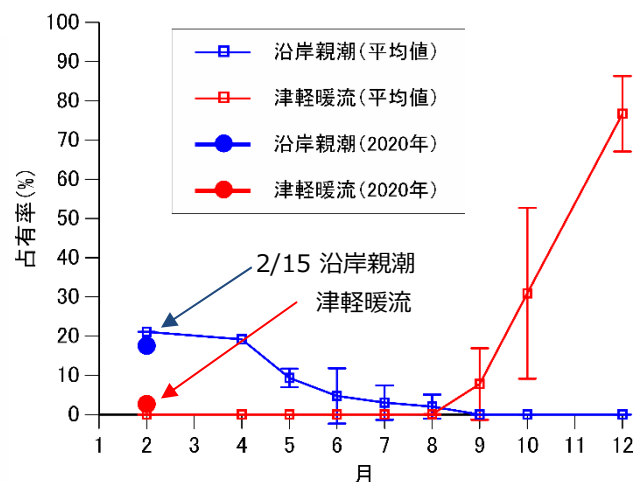
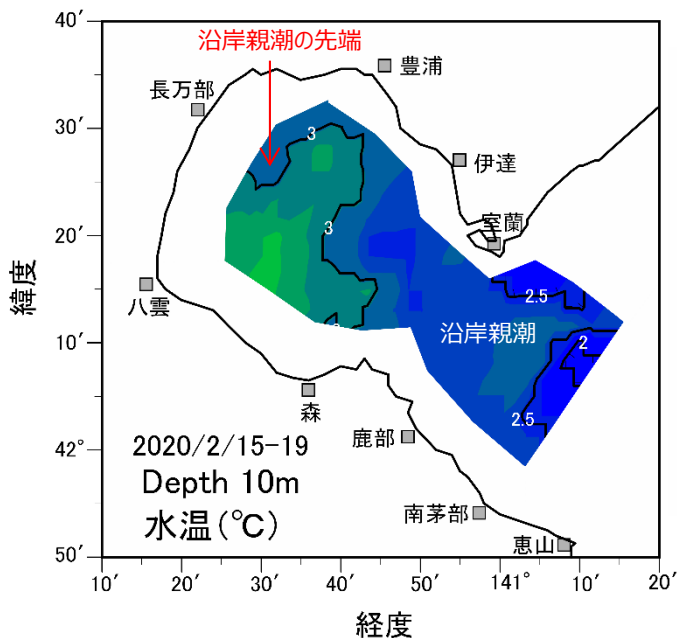


図2 沿岸親潮、津軽暖流の湾内占有率

図1 噴火湾およびその周辺海域における10m深水温の水平分布

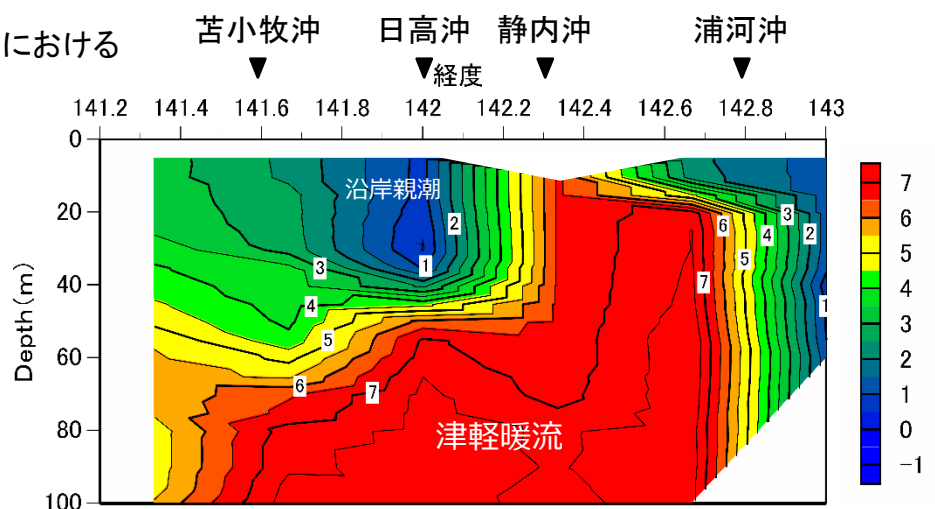
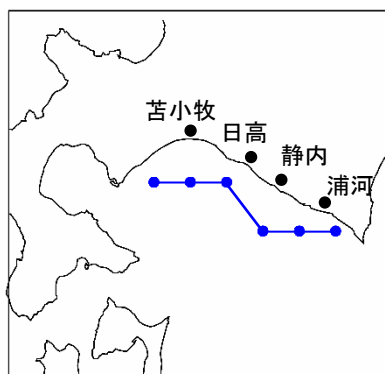


図3 太平洋沿岸域(左図の観測線)における水温の鉛直断面

※本調査及び情報配信は北海道ほたて漁業振興協会からの委託研究として実施しています。